

歯周治療学実習（小牧基浩）

Practical training for Periodontology (Motohiro Komaki)

キーワード

- ① 歯周病学 (Periodontology)
- ② 細胞培養 (Cell Culture)
- ③ 小動物実験 (Small animal used in research)
- ④ PCR法 (Polymerase Chain Reaction)
- ⑤ 免疫組織化学 (Immunohistochemistry)

授業概要

「歯根膜はなぜ石灰化しないのか」という疑問に対して、過去に報告はあるか（論文検索の方法）、どのように証明するのか（材料と方法）、実験から何が言えるのか（実験法から言えること、結果の書き方）など、臨床での疑問に対してどのように答えを見つけるのか(Evidence) を実践形式で学びます。

授業科目の学修目標

実習を通じて、日常臨床での疑問にどのように答えを出すのか、その手法と手順を理解する。

授業計画

- ①研究計画立案 10コマ 小牧基浩
- ②細胞培養法～細胞増殖と分化誘導法 10コマ 小牧基浩 青山典生
- ③タンパク質解析法 5コマ 小牧基浩 青山典生
- ④核酸解析法 5コマ 小牧基浩 青山典生
- ⑤免疫化学的解析法 5コマ 小牧基浩 青山典生
- ⑥動物実験（飼育、麻酔、骨・血管新生・歯周病関連モデル作成） 10コマ 青山典生 杉原俊太郎 平田貴久
- ⑦図・表の作成 10コマ 青山典生
- ⑧解析結果のまとめ方 5コマ 青山典生

教科書および参考書

なし

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

論文読解に必要な語学（英語）力

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 問題を発見し研究計画の立案ができる。
- ②細胞培養に必要な器具と手技を説明できる。
- ③ウェスタン・ブロッティング法を説明できる。
- ④ノーザン・ブロッティング法、PCR法を説明できる。
- ⑤細胞と組織の免疫染色法を説明できる。
- ⑥生命の尊さを理解し、正しい飼育法と麻酔法が説明できる。
- ⑦⑧ 論文発表・作成に必要な図・表が作成できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	実技	その他
0%	0%	50%	0%	0%	40%	10%	0%

評価の要点

- ・レポートは、授業計画5項目について課題を提出。10% x 5回=50%
- ・口頭試問は、授業中のディスカッションにより評価。8% x 5回=40%
- ・実技は、授業計画の5項目についてプロダクト達成度を判定する。10%

理想的な達成レベルの目安

75%